

まちづくり交付金 事後評価シート
山木能満地区

平成18年12月

千葉県市原市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

| | | | | | |
|------------|---------------|--------------|---------------|-------------|---------|
| 都道府県名 | 千葉県 | 市町村名 | 市原市 | 地区名 | 山本能満地区 |
| 計画期間 | 平成16年度～平成18年度 | まちづくり交付金交付期間 | 平成16年度～平成18年度 | | |
| モニタリング実施時期 | | 事後評価実施時期 | 平成18年 | フォローアップ実施時期 | 平成19年5月 |

| | | |
|------------|--------------------------|---|
| 1) 事業の実施状況 | 当初計画どおり実施した事業 | 市営山木住宅建替え事業 歩道整備事業 道路照明設置事業 情報掲示板設置事業 |
| | 当初計画から変更した事業 (変更した内容) | 児童遊園及び集会場設置について、市営山木住宅建替え事業の中で実施した。 |
| | 変更した理由、目標・数値指標への影響等 | 児童遊園及び集会場の設置位置が市営山木住宅用地内であることから、市営住宅建替え事業の一部として合わせて実施したため、目標・数値指標への影響は無い。 |

| 2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 達成度 | | | 達成見込みの有無 | | 効果発現要因 |
|---------------------------|---------------|--------|-----|---------|----|----|----------|--|---|
| | モニタリング | 事後評価 | | フォローアップ | あり | なし | 総合所見 | | |
| 指標1 | コミュニティ活動の拠点整備 | 14→40 | 人/日 | | | | | | 地区内住民に開かれた施設であることから、子供を中心とした住民間のコミュニティ形成が図られる見込みがある。 |
| 指標2 | 小学校通学路の整備 | 83→100 | % | | | | | | 歩道未整備区間の全線整備により、児童の登下校の安全が確保された。 |
| 指標3 | 交通事故の防止 | 2→0 | 件/年 | | | | | | 平成15年度に2件の車両事故が発生した交差点を改良することにより、平成17年度は、この場所での交通事故件数が0件となった。 |

| 3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | | 数値 | | | 効果発現要因 |
|---|--------|------|----|---------|------|--------|------|---------|--------|
| | モニタリング | 事後評価 | | フォローアップ | 基準年度 | モニタリング | 事後評価 | フォローアップ | 総合所見 |
| その他の数値指標1 | | | | | | | | | |
| その他の数値指標2 | | | | | | | | | |
| その他の数値指標3 | | | | | | | | | |

| | |
|-------------------------|--|
| 4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> 住宅の建替えや公園が整備されることにより、住環境が向上し、いろいろな意味でのアメニティあるいは地区の魅力の向上が図れた。 多世代の入居が可能となる住宅の建替えや通学路に隣接したポケットパーク、公園の整備により、世代を超えた交流の場が創設された。 老朽住宅の建替え及び耐震性貯水槽並びに備蓄庫の設置により、火災等の災害に対する住民の安心感が生まれた。 |
|-------------------------|--|

| 5) 実施過程の評価 | 評価項目 | 実施内容 | 実施状況 | | | 今後の対応方針等 |
|------------|--|------|---|---|--------|----------|
| | モニタリング | | | <ul style="list-style-type: none"> 予定どおり実施できた 予定していなかったが実施した 予定したが実施しなかった・できなかった | | |
| 住民参加プロセス | | | <ul style="list-style-type: none"> 予定どおり実施できた 予定していなかったが実施した 予定したが実施しなかった・できなかった | | | |
| 持続的なまちづくり | 新山木住宅自治会との協議により、交流の場である集会場及び児童遊園の維持管理を実施してくれることとなった。 | | <ul style="list-style-type: none"> 予定どおり構築できた 予定していなかったが構築した 予定したが構築しなかった・できなかった | | 月1回の清掃 | |

様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

山木能満地区(千葉県市原市) まちづくり交付金の成果概要

| | | | | | |
|----------|---|----------------|--------------------|------------|-------------|
| まちづくりの目標 | 誰もが安心・快適に暮らせる生活環境の創出を目指し、老朽住宅の建替、開かれた公園や集会所の設置、通学路の歩道整備、道路照明の設置、情報掲示板の設置等を実施する。 | まちづくり交付金の代表的成果 | コミュニティ活動の拠点整備(人/日) | 14(平成15年度) | 40(平成18年度) |
| | | | 小学校通学路の整備(%) | 83(平成15年度) | 100(平成18年度) |
| | | | 交通事故の防止(件/年) | 2(平成15年度) | 0(平成18年度) |



- 凡 例
- 山木能満地区
 - 情報掲示板設置箇所
 - 街路灯設置箇所
 - ★ 防犯灯設置箇所

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

・住民が安心できるまちづくり(災害対策、防犯対策)
事業箇所の近隣住民への調査では、「老朽市営住宅の建替えにより防災上安心した。」との声が多く、また、更なる防犯対策を望む声があったことから、地域住民と協働して防災・防犯対策を検討し、住民が安心できる町を目指す。

・交流あるまちづくり(コミュニティの活性化)
集会場及び児童遊園などの地区内の交流の場が整備されたことから、交流の輪が着実に広がるよう、情報掲示板の活用等を持って確実に周知を図るとともに更なる環境整備に努めていく。